**サミット協力室**

**事務事業執行概要**

**総務グループ**

**１　室の庶務事務**

室の予算編成、経理、給与、物品、福利厚生及び一般庶務事項を掌り、当該事務の円滑な執行に努めた。

室内各グループの総合調整を図り、円滑な事務執行を行った。

**２　2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会の総務関係事務**

平成30年３月に設立した「2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会」（以下「協議会」という。）の総務事務を所掌し、当該事務の円滑な執行に努めた。

なお、令和元年11月６日に協議会役員会を開催し、協議会の事業報告・　決算・解散決議等について承認議決を得て、同年11月21日付で協議会を解散した。

**３　2019年G20サミット推進本部会議の運営**

サミット開催時における大阪府・大阪市の各部局や区役所等との連携強化を図るとともに、各PTの取組み状況を確認するため、「G20大阪サミット推進本部会議」を開催した。

**４　レガシーの継承・活用に係る取組み**

サミット開催の経験を後世に引き継ぐとともに、今後の類似行事への教訓や参考とするため、公式記録誌を作成し、関係各所へ配布した。

また、サミットを府民に体感いただくため、配偶者プログラムなどの記録写真を府庁本館正門玄関横において展示した（８月９日から10月31日）。

さらに、サミット本会議場で使用したテーブル・椅子等を府立中央図書館に寄贈し、展示等に活用いただいている。

加えて、サミット協力協議会ホームページの閉鎖（８月30日）に伴い、ホームページのアーカイブなどを活用し、必要な情報を府ホームページから閲覧できるようにした。

**企画グループ**

**１ G20大阪サミットの開催支援等**

（１）プレスツアー

外務省等と連携し、海外の報道機関に対し、大阪・関西の食や文化の体験、産業視察などを通じて、その魅力を紹介するとともに、2025年に開催される大阪・関西万博のPRを行うため、プレスツアーを実施した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 第１回 | 2019年３月19～20日 | 【訪問先】大阪府・兵庫県 |
| 第２回 | 2019年５月16～17日 | 【訪問先】大阪府・徳島県・和歌山県 |
| 第３回 | 2019年６月13～14日 | 【訪問先】大阪府・奈良県 |

延べ27社30名の記者が参加し、世界各国のメディアに少なくとも66件報道された。

（２）おもてなしに係る取組み

代表団レストラン及びプレス専用ダイニングや、首脳・配偶者イベントにおいて、大阪・関西の地元食材・県産品・観光資源等、地元資源が活用されるよう、リスト化を行い、外務省へ提出した。調整を行った結果、歓迎レセプションや総理主催夕食会等で、大阪産・関西他府県産の地元食材や酒類等が活用された。

また、サミット開催期間中は、地元を代表して歓迎の意を表するため、外務省とともに、空港等で各国代表団等の出迎え対応を行った。

加えて、首脳・配偶者に対し、吉村知事のウェルカムレターを添えた大阪・関西の伝統工芸特産品を贈呈した。贈呈品の調達にあたっては、選考委員会による絞り込みを行った。

（３）協議会主催レセプション

大阪・関西らしいおもてなしで各国代表団等を歓迎するため、６月27日に協議会主催レセプションを開催した。

＜開催概要＞

・参加者　海外24の国・国際機関の代表者約180名、国内約170名

・内容

プログラム：知事挨拶、地元文化・技術のパフォーマンス　等

大阪・関西万博等の展示ブースの設置

地元の食材を取り入れた飲食の提供

（４）宿泊予約センターの設置運営に関する取組み

各国代表団、警察、プレス党関係者の配宿、清算手続き等を円滑に進めるため、宿泊予約センターを設置し、適切に対応を行った。

**広報企画グループ**

**１　広報展開、魅力発信等**

（１）大阪・関西における広報展開

ホームページやSNSを活用した随時の情報提供や、国のロゴマークに地元のアレンジ（OSAKAの追加）をあしらったロゴマークを活用したポスター・リーフレット・デジタルサイネージによる周知を行った。

併せて、企業・団体・地域と連携し、商業施設や商店街にポスターやのぼりを掲出するなど、街中での広報展開を行った。

また、サミットへの理解促進・機運醸成を図るため、「G20大阪サミットフォーラム」等のイベントの開催や、大通り沿いへのバナーフラッグの掲出など、シティドレッシングも実施した。

（２）開催直前の機運の盛り上げ

関西エアポート社等と連携し、空港装飾や、インバウンド向け注意喚起カード（「インバウンド向けG20情報提供ツール」）の配布を行った。

また、会場周辺等の装飾を実施したほか、庁内各部局、大阪市、関係団体等と連携したクリーンアップ作戦を府域において展開した。

さらに、府内の小学生から高校生に対し、サミットへの理解・関心を促進するため、「サミットこども新聞」と授業で活用できるDVDを配布した。

交通規制実施に係る周知については、新聞広告や折り込みチラシ、テレビ・ラジオCMのほか、鉄道各社の協力を得て車内放送や中吊り広告を活用した広報を展開した。

（３）大阪・関西の魅力発信

サミット会場内の「大阪・関西魅力発信スペース」において、大阪・関西の「伝統工芸・食・産業技術・歴史文化」の情報発信を行った。展示内容については、関西広域連合と調整し、大阪のみならず、関西の魅力を世界に発信できるよう取り組んだ。

※茶道等の実演ブースや、地元食材の料理の提供、大阪・関西万博の展示など、７つの展示ゾーンを設置。

（４）学生通訳ボランティアの協力

大阪を訪れる外国人報道関係者へ、外国語による大阪・関西の魅力発信や観光・交通の案内等を行う「G20大阪学生通訳ボランティア」を募集し、サミット会場内の「大阪・関西魅力発信スペース」や「協議会主催レセプション」において活動いただいた。

・14大学37名の推薦。

・事前研修（４月20日、５月18日）、結団式（６月22日）を実施。

・魅力発信スペースでは、６月27日から６月30日の４日間、延べ42人が活動。協議会主催レセプションでは、７名が活動。

**事業調整グループ**

**１　府民・事業者等への説明に係る取組み**

　　　サミットの理解促進並びに各種規制内容等について、以下のとおり周知・協力要請等に係る取組みを行った。

・住民・事業者説明会を実施し（５月28日から６月３日の間に計６回開催）、規制内容等について情報提供・共有を行った。

・協力協議会から経済３団体に対し、各種規制等に関する協力要請文を発出（４月２日、４月25日、５月10日、５月21日）するとともに、各部局を通じ、所管団体へ周知、協力要請を行った。

・各部局や経済界と連携し、業界団体（大阪府トラック協会、大阪バス協会、大阪チェーンストア協会、大阪府歯科医師会、大阪府医師会、咲洲庁舎店舗会など）に対する個別説明を実施した。

・関西広域連合や市長会・町村長会を通じて、規制内容等について広報誌等での周知や域内事業者への協力要請を行った。

・交通総量抑制対策として府警本部と連携し、業務量車両への啓発ステッカーを貼付した。さらに、主要駅等でのポケットティッシュ配布など、様々な機会・ツールを活用した周知を行った結果、規制期間中の交通総量について、目標である平日通常時の50%削減を達成した。

**２　「住民・事業者確認カード」及び「ホログラムシール」の発行**

サミットの開催にあたり、インテックス大阪周辺において警戒警備が強化され検問等が実施されることに伴い、その影響を受ける住民及び事業者の負担軽減対策として、「住民・事業者確認カード」及び「ホログラムシール」を発行し、検問時等における質問時間の短縮化を図った。

　　　　〇発行実績

　　　　　・住民・事業者確認カード：4,583枚

　　　　　・ホログラムシール　　　：7,902枚

**３　　インテックス大阪隣接の駐車場対策**

　 インテックス大阪の南側に隣接する南港ポートタウン北１及び北２駐車場は、厳戒な警戒警備体制が敷かれるエリアに位置しており、通行時の警官による声かけや車両検査等で相当な時間を要すること、また６月27日から６月29日まで、駐車場の前面道路が通行止めとなり、車の入出庫ができなくなることから、同駐車場の利用者の負担軽減策として、代替駐車場を確保した。

　　　　《事業概要》

　　　　　・代替駐車場の確保（６月22日から７月１日、対象：約680台）

　　　　　・利用者向けの説明会の開催。

　　　　　・説明書及び代替駐車場利用証の送付。

**４　救急・危機管理**

　　　防災・危機管理、保健医療対策の各PTにおいて策定した計画に基づき、サミット期間中において、24時間体制で不測の事態に備えた。

また、各PTとの情報共有のための連絡体制を確保した。